令和8年度全国学力・学習状況調査　古平町内の状況及び今後の改善方策

○ 全国学力・学習状況調査の概要

文部科学省は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として、「令和8年度全国学力・学習状況調査」を実施しました。

この調査結果が公表されましたので、全道・全国平均と比較した本町の状況や課題についてお知らせします。

・実施日：4月23日（木）
・対　象：小学6年生（14名）/中学3年生（12名）

○ 教科に関する調査の状況

矢印の意味

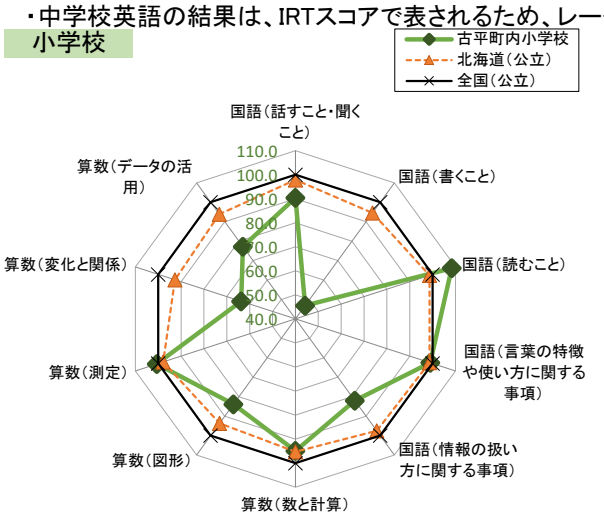
→ 同程度（±1ポイント未満）	
↗ 1～4．9ポイント上回って	↘ 1～4．9ポイント下回っている
↑ 5～8．9ポイント上回って	↓ 5～8．9ポイント下回ってい
⇑ 9ポイント以上、上回ってい	⇓ 9ポイント以上、下回っている

【平均正答率・平均IRTスコア】※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

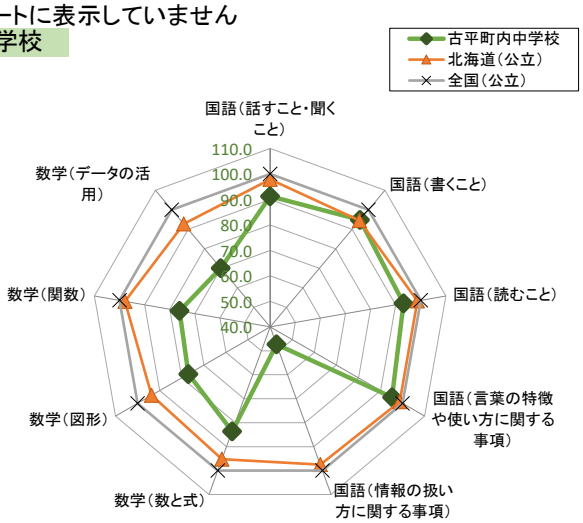
	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
古平町	↓	↓	↓	⇓	⇓
北海道（公立）	60	54	63.0	55	490
古平町	↓	↓	↓	⇓	⇓
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57	499

【レーダーチャート】
・教科の領域別に**全国を100**とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの。
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



中学校



◇ レーダーチャートの各領域・平均IRTスコアによる結果の概要

【小学校 国語】

国語の平均正答率は全道・全国平均を下回る結果となりました。

領域別で見ると、「書くこと」、「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率が全道・全国平均を大きく下回ったほか、「話すこと・聞くこと」の平均正答率が全道・全国平均を下回る結果となりました。

「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均を下回りましたが全道平均は上回りました。「読むこと」については平均正答率は全道・全国平均を上回りました。

【小学校 算数】

算数の平均正答率は全道・全国平均を下回る結果となりました。

領域別で見ると、「データの活用」、「変化と関係」、「図形」の平均正答率が全道・全国平均を大きく下回ったほか、「数と計算」の平均正答率が全道・全国平均を下回る結果となりました。

また、「測定」は、平均正答率が全道・全国平均を上回りました。

【中学校 国語】

国語の平均正答率は全道・全国平均を下回る結果となりました。

領域別で見ると、「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率が全道・全国平均を大きく下回ったほか、「話すこと、聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率が全道・全国平均を下回る結果となりました。

【中学校 数学】

数学の平均正答率は全道・全国平均を下回る結果となりました。

領域別で見ると、「データの活用」、「関数」、「図形」、「数と式」の平均正答率が全道・全国平均を大きく下回る結果となりました。

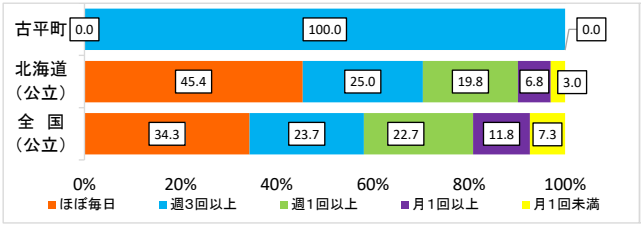
【中学校 英語】

英語の平均IRTスコアは全道・全国平均を大きく下回る結果となりました。

○ 質問調査の状況

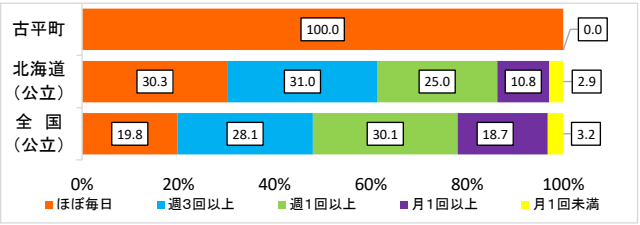
小学校

＜学校質問＞
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

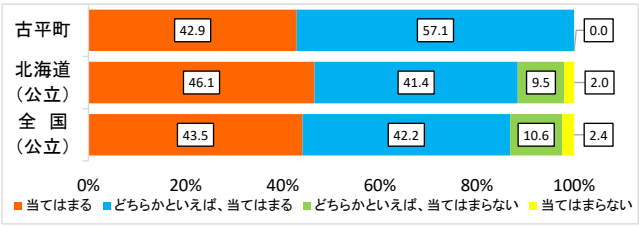


中学校

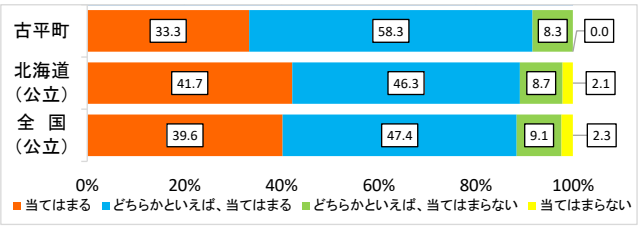
＜学校質問＞
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



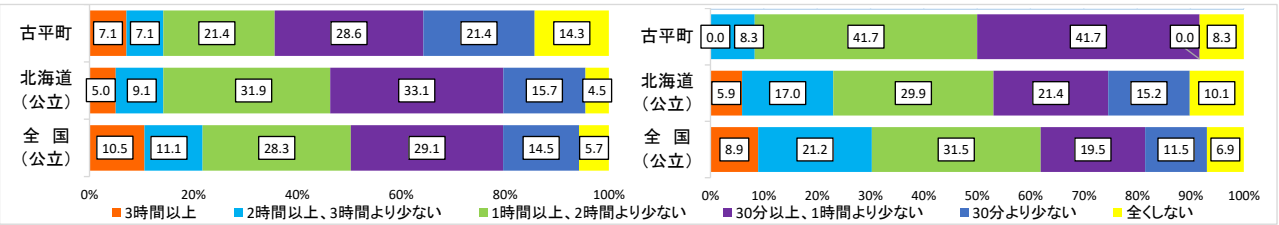
＜児童質問＞
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



＜生徒質問＞
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



＜児童生徒質問＞
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



※「その他」や「無回答」があるため、割合の合計が100%にならない場合があります。

◇ 調査結果の分析

本町の児童生徒は、問題文や資料から必要な情報を正確に読み取る力に強みが見られます。一方で、得た情報を基に自身の考えをまとめ、その理由を表現することに課題があります。

また、＜児童生徒質問＞の回答を見ると、授業以外の学習時間が1時間より少ない児童生徒の割合が多く、授業で学んだ内容を振り返る時間の不足が、基礎学力の定着に影響していると考えられます。

◇ 今後の改善方策

【1】ICT×対話による授業づくり
ICT機器の効果的な活用や話し合い活動を通して、子どもたちの意欲や理解につながる授業づくりを目指します。

【2】「考えを書く・説明する」プロセスの重視
目的や意図に応じて、自分の考えを書いたり、事象の成り立つ理由を説明する場面を毎日の授業に取り入れます。

【3】朝学習やAIドリルによる基礎力アップ
学習の基礎となる読解力や集中力を養うため、朝学習等の時間に、AIドリルや教材を活用する取組を実施します。

【4】家庭学習習慣の定着
児童生徒が主体的な学習に取り組むことができるよう、学習習慣の定着を図る取組を進めます。

保護者の皆様へのお願い

「北海道の子どもたちの健やかな成長を願って」リーフレットより

確かな学力を身につけるためには、家庭学習とのつながりが大切です。予習・復習をはじめ、自ら計画を立てて取り組む主体的な学習の確立に向け、小学校・中学校でも引き続き取り組んでまいります。各ご家庭におかれましても、家庭学習時間の確保について引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

【家庭でのポイント】

① ほめる　がんばってできたこと、挑戦したことを認めて、ほめ、子どものやる気を育てましょう。
② 見守る　子どもが家庭学習の計画を立て、取り組む姿を見守り、応援して、子どもの自主性を育てましょう。
③ 決める　スマートフォンやゲームをする時間の約束を家族と一緒に決め、一日の時間を大切にする意識を育てましょう。

家庭での学習時間の目安
小・中学生「学年×10分+10分」